

広報 三重地域センター 令和6年8月号

長崎市役所 三重地域センター R6.7.18 No.40号
〒851-2204 長崎市三重町1098番地1
業務時間 平日8:45~17:30
電話 095-850-1111 / FAX 095-840-1001
E-mail:br_mie@city.nagasaki.lg.jp

三重地域センター管内人口 19,910人(男 9,651人 女 10,259人) 世帯(令和6年6月末現在)

畝刈小学校区まちづくり協議会が誕生！

6月23日(日)畝刈小学校区コミュニティ連絡協議会設立準備委員会の主催により、これまで3回にわたって、畝刈小学校区の未来について地域の皆さんが意見を出し合ってきた「あぜトーク！！」の報告会が開催されました。

畝刈小学校区の目指す将来像としてキャッチフレーズ「**人あり、海あり、笑顔あり、みんなでつなぐあぜかりの輪**」が示され、「イベントや祭りを増やしたい」「子どもが遊べる場所を増やしたい」「ごみのポイ捨てをなくしたい」など、まちづくり計画(案)の素となった様々な意見が紹介されました。

その後、畝刈小学校区まちづくり協議会の設立総会が開催され、まちづくり計画、組織体制、規約の各案が承認され、入口初則会長をはじめ新しい役員の方々を選出されました。

今後は、①地域活性化・伝統文化継承、②安全安心・防災、③子ども・自然・生活環境の3つの部会が立ち上げられ、地域の皆様から出された各テーマに対応した事業が具体化されていく予定です。



「まちづくり」とは、人と人とのコミュニケーションづくりだと言われています。私たちは、住民自らが「地域の魅力や活力を高める」ために行動することを宣言しました。それが畝刈小学校区まちづくり協議会です。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

畝刈小学校区まちづくり協議会
会長 入口 初則



下口和夫さん・昌代さん夫婦に内閣府特命大臣感謝状



里親として小学校1年生の娘を迎え、高校を卒業するまでの12年間養育した下口さん夫婦に、6月17日長崎県を通じて感謝状が贈られました。

ご夫婦は、子育てを終えた後里親の制度を知り、子どもは個人の家庭の中で育てた方が良いという思いから娘を迎え入れました。夫婦で協力して食事の方法や手伝いの仕方などを教えることから始め、休みの日には一緒にドライブに行くなどふれあいを大切に育児をされてきました。

和夫さんは「女の子に対して特別扱いしたわけでもなく、順調に育てて嬉しかった。地域の行事も参加して、溶け込んでいった。成長を見るのが楽しい」と思い出を振り返っていただきました。

娘は今では大学に進学し家を離れましたが、ご夫婦との交流は変わらず続いています。

里親制度とは

様々な事情で家族と離れて暮らす子どもを自分の家庭に迎え入れ、温かい愛情と正しい理解を持って養育する、児童福祉法に基づく制度です。

子どもを守るネットワークで一斉パトロール

三重小学校区では、6月29日(土)、地域の方々と、子どもたちとの懇談会が開催されました。懇談会では、地域の方々から子どもたちに向けて、事故防止や防犯に関するメッセージが伝えられました。また、教頭先生が危険箇所について説明し、子どもたちは活発に意見を発表していました。

引き渡し訓練では、子どもたちは名前を呼ばれると迎えに来た保護者と合流し、それぞれ帰路につきました。訓練では皆さんとても落ち着いた様子で、とても実りあるものと感じました。

子どもたちの下校に合わせ、地域の方々もパトロールや横断歩道での立哨を行いました。子どもたちもさっそく、歩道に危険箇所がないかを確認しながら歩いていて、とても頼もしい限りです。

たくさんの地域の方々が子どもたちを大切に思い、いつも温かく見守っていて、子どもたちもそれに応えようと頑張っています。三重地域センターも引き続き、地域の子どもたちを見守ります。



鳴見台小学校区では、7月7日(日)、児童と地域の方々100名が参加して、子どもを守るネットワークパトロールとコミュニティ協議会主催のSNSピリカを使ったごみ拾いイベントが併せて開催されました。廃棄物対策課によるクイズを交えたゴミに関する出前講座の後、豊洋台1丁目と2丁目の2つのコースに分かれて、ごみ拾いとパトロールを行いました。参加者からは「少しでもきれいになってよかった」という声が聞かれました。



畝刈小学校区では、6月29日(土)、畝刈小学校の全児童650人と教職員、育友会、子どもを守るネットワークや青少年育成協議会の役員さんをはじめ各自治会など多くの地域関係者が参加。下校ルートごとにグループに分かれ、6年生のリーダーが先頭となってパレードしながら危険箇所や交通マナーなどを確認しました。

畝刈自治会では、三重地区市民センター近くの横断歩道の手前などに辻郷会長が市から提供を受けたストップマーク(「とまらんば」と書かれたシール)を貼っています。



三重地区史談会発足10周年おめでとうございます

三重地区史談会は、三重地区の長崎市編入40周年を記念して発行された「長崎市三重地区の郷土誌」の編集に携わった有志、郷土史に関心を持つ方々が集い、平成26年(2014年)6月に発足。三重地区郷土史の調査、研究、学習を深め、貴重な史跡の保存、説明板設置や紹介などに努められています。会員は現在15人。会長は、発足以来務められてきた木浦弘海氏から、今回、森口純一氏へとバトンタッチ。また、最近、事務所を三重地区公民館2階(長崎市三重町1142-1)に移されました。

今後益々の会のご発展を祈念いたします。

※ 三重地区史談会では会員を募集しています。

〔問い合わせ〕事務局 奥田さん Tel 090-1195-2137



@MIETKUSHIDANKAI



三重地区50年のあゆみ

